

越生町黒山 日照水ボルダー Ver.3.5

令和8年1月5日 RCT/K

以前、猿岩林道途中の日照水周辺にあるボルダーのうち「駐車スペース下のエリア」を紹介したが、今回は、知ってはいたが未だ手を付けていなかった上流と下流の幾つかのボルダーをトライしてみた。

昨冬の肩の故障が回復してきたとはいえ筋力が大分低下しているので難しい課題は登れなかったが、いろいろな課題があり十分楽しむことができた。

対象となるボルダーは10個以上あり、岩質はチャート中心に一部石灰岩が混在する。高さはハイボルダーもあるが実質3m程度まで。沢沿いにあるものが多く、夏は周囲の木が生い茂り乾きは悪いので、シーズンのには秋から春が良いと思われる。

アクセスは、車利用で、越生町黒山の北ヶ谷戸橋から日照水、花立松ノ峠方面の林道猿岩線に入る。車は、日照水下の道路沿いに何台か駐車できるが、上からの落石を考慮すると山側には駐車しない方が良い。水汲みの車が来てスペースがなくなることもあるので、今回、川側の雑草で荒れたスペースの石とゴミを拾って駐車できるようにした。普通車で3台ほど駐車可能である。

なお、日照水の周辺は、初期開拓時にゴミがいっぱいで、目立ったものは大まかに片付けたのであるが、今回再度訪れてみると、またまた多量のゴミが捨てられており再度回収した。



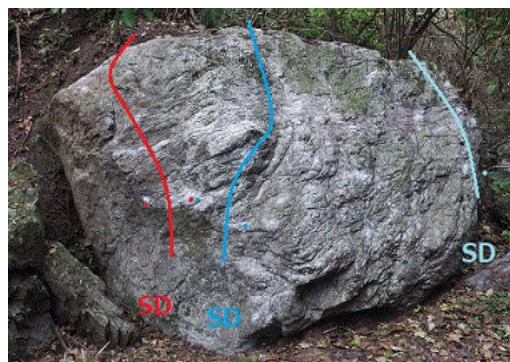
《課題紹介》

■駐車スペース下エリア(2018年トライ)

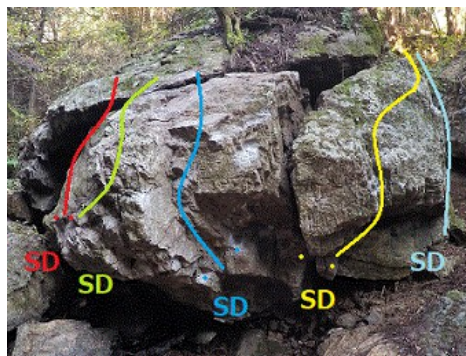
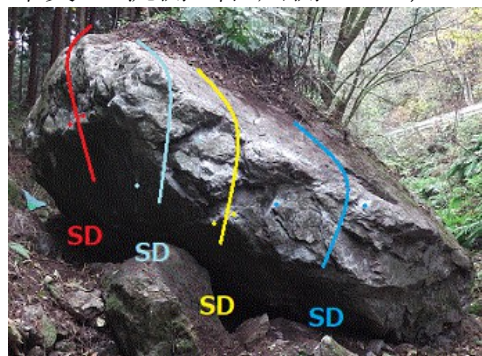
初期(2018年)に開拓されたエリアで、何年か経過し下地が荒れているところがある。お勧めできる程のボルダーはないが、再度掃除をすればそこそこ楽しめると思う。アプローチは、駐車スペースから少し下ってA岩の上か、D岩の対岸から踏み跡を降る。

●A岩

右岸にあり林道からは見えはないが、白くきれいな岩。下流側のフェイスにSD課題が2本あるが、あまり良いフットホールドがなく、スタートが厳しい。



●B岩(左:山側ハング 中央:上流側 右:川側ハング)



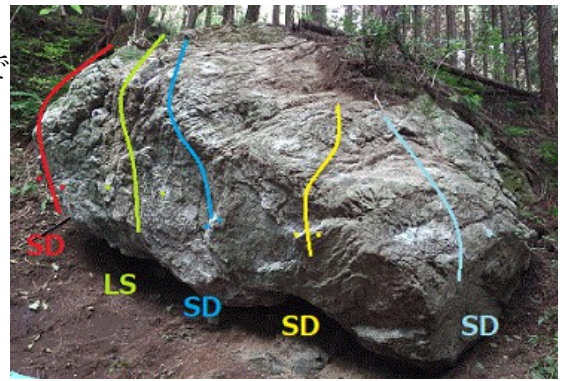
苔とブッシュを落としたら周囲に課題ができ、高さはないが楽しめるボルダーとなった。

川側のハングが面白いが、水量が多い時は下地が水没し、取り付けない可能性あり。

●C岩

B 岩の山側にある横長のボルダー。下地が土手状で落ちた時に不安があるので、クラッシュパッドは考えて敷いた方が良い。

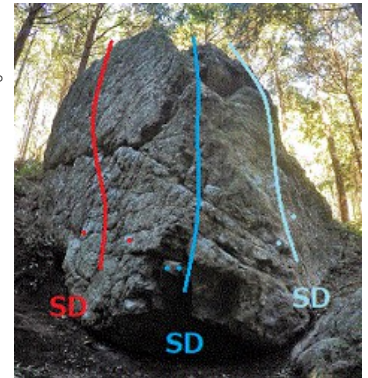
課題としては、皆そこそ楽しめるが短い。なお、水色ラインから赤ラインまで、リップ付近を使わずにトラヴァースするラインは、ムーヴは繋がったが、通しでは未解決である。



●D 岩

下流の少し離れた場所にあるボルダー。林道から対岸へ直接アプローチできるが、下流の橋側から踏み跡あり。

課題としては、被りはないが赤ラインが意外と面白い。



■上流エリア(令和7年トライ)

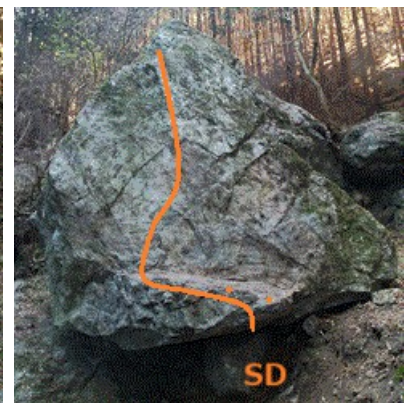
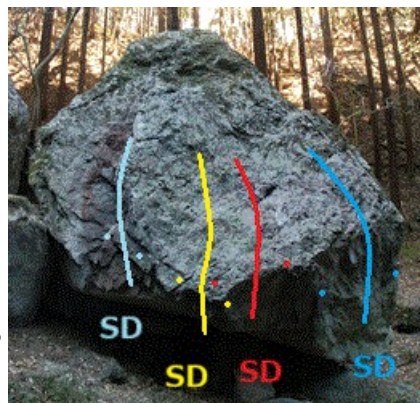
日照水の水汲み場(登山道入口)から上流側の沢中や山の斜面にあるボルダーや岩場。

●E 岩

登山道を少し入ったところから対岸に最初に見える岩。上が易いスラブなので、対象は下部のみ。

赤ラインは、スタートで足は右のフェイス側を使う。

黄色ラインは、古畑隆明氏の登ったラインで、下記 YouTube 動画参照。



<https://www.youtube.com/watch?v=WKWCxqLrO8>

オレンジラインは、少し左にトラヴァースして上のガバを掴んでレッジに這い上がる。

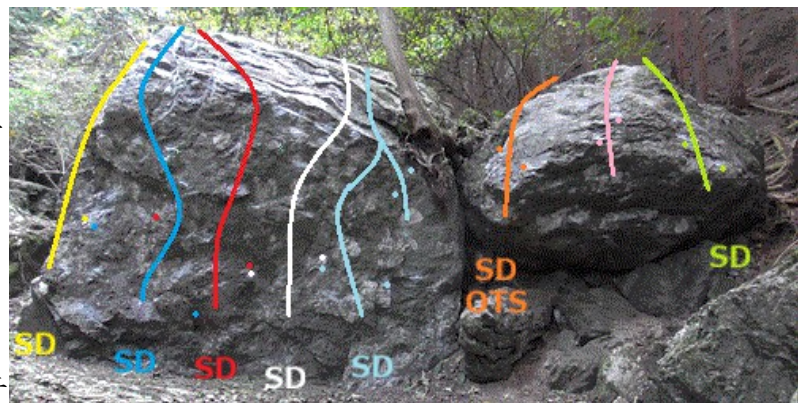
●F岩&G岩

(卜ボ図中左:F岩 右:G岩)

E岩の奥にある2つ並んだ岩。

F岩は全体が薄被りで、大きいが方向の悪いホールドとスローパーの小ホールドばかりのフェイスで難しい。

赤ライン(課題名:日)、白ライン(課題名:照)、水色ラインのSD(課題名:水)は古畑隆明氏により登られた課題で、SDから1手目顕著な小カチを右または左手でとる。詳しくは古畑氏



を右または左手でとる。詳しくは古畑氏の下記 YouTube チャンネル参照。

<https://www.youtube.com/watch?v=3cqhmhmOf4Q>

青ラインはスタートの左手が少し遠く、マットの厚みを借りて SD スタート。上部はカンテを使って直上するがカンテ左には出ない。

G 岩は、下部がハングした岩で、易しい課題が 3 本ある。ピンクラインと黄緑ラインのスタートはハング上の小さなホールドで引き付けたらガバにデッドする。

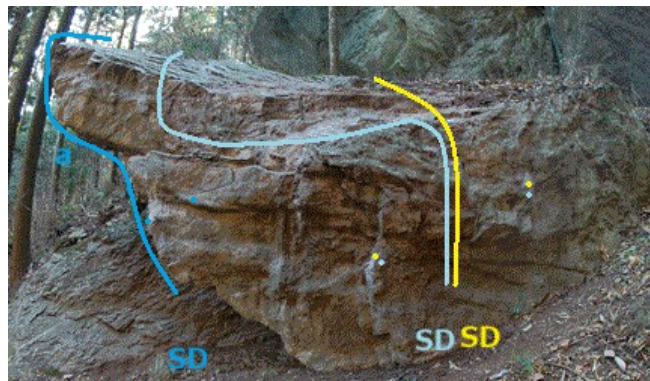
●H 岩

登山道沿いの大きな岩 (I 岩) の下にある下流側が被った岩。

青ラインの被ったカンテは左手カンテのピンチ、右手右壁のパーミングホールドで引き付け右手をガバにデッド。上部はガバで易しいが最上部で落ちると川底まで転げ落ちる可能性があるの

でトライ時は上部のホールドを確認しておいた方が良い。

赤ラインは被っているがガバの連続で易しい。



●I 岩

未トライ。H 岩と登山道を挟んで山側にある大きな岩。下に登山道が無ければきれいにして遊びたいところだが、何かあった時に問題となりそうなので手を付けないことにした。右側下部にクラックが走る前傾壁があり、その壁だけボルダーとしてトライするぶんには問題無いと思われる。少し高さがあるのでスポッターがいると安心。上部が汚れてホールドの状態が分からないので上から懸垂下降して掃除したほうが良い。

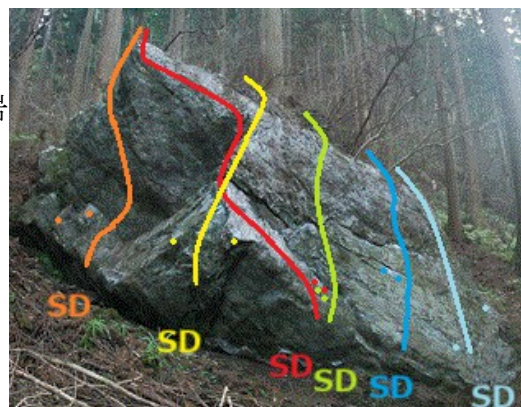
●J 岩

I 岩の少し先の山の斜面にあるボルダー。右側はスラブで左側が被っているが、課題は易しい。右上にも小さな岩があるが、ちょっと脆そうなので未トライ。

オレンジラインは、ハング下のレッジに立ち込んでからハングを左寄りに越える。

赤ラインは、下部はクラック状を左上し、上部はリップを左上しハングトップを越える。

黄緑ラインは、引き付けてガバにデッド。フットホールドが何度も欠けたが少し安定した。

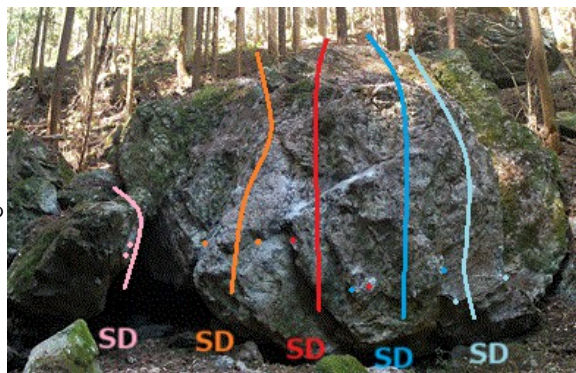


●K 岩

登山道が左岸に渡り少し行った沢の中にあるボルダー。被りなく苔多いが何本か登ってみた。

ホールド多く、易しいが楽しい。

ピンクラインは、左にある小さな岩で斜めのガバからマッチスタート。



●L 岩

K 岩の少し上流右岸にある大きなピラミダルな 20m 程のフェイス。苔が多く階段状に見えて傾斜がないように見えたが、登ってみるとそこそこ立っていた。苔と浮石を落としてからトップロープで登ったが、まだ掃除不足でホールドに泥砂が載っているので快適とは言えない。

支点は左の土手から回り込んで岩上の木を利用するが、1 つ上の安定したテラスの木から延ばした方が良いので長めのロープスリングがあるとセットしやすい。

グレード的には 5.7 程度で出だしが核心。初心者の練習に良いかもしれない。



■下流エリア (令和 7 年トライ)

日照水に行くまでの途中に点在しているボルダー。P と Q 岩以外は駐車スペースから至近距離にあり林道から良く見える。

●M 岩 (トボ左:下流側 右:上流側)

廃屋の少し先の川の中にある石灰岩の大きな岩。上がスラブで、ブッシュ、苔が多く、対象になるのは下部のハング部分のみ。駐車は降り口に可能。



下流側のスラブ

は下部がハングでムーブ的には面白いのだが、泥が混ざって固まったようなホールドが脆くトライ中に何度も欠けた。今後も欠ける可能性が高く、この面はあまりお勧めできない。

オレンジラインはガバのハンドトラヴァース。

紫ラインは右手ノブホールド、左手すぐ側のカチからスタートし左上のカッチリかかるホールドを左手でとる。ノブホールドが欠けそうでちょっと怖い。

ピンクラインから紫ラインに入るリンクルートは未解決。

上流側のハングは、石灰岩に泥岩？とチャートが縦に貫入しているフェイスでなかなか面白い岩肌である。課題も個性的で面白い。

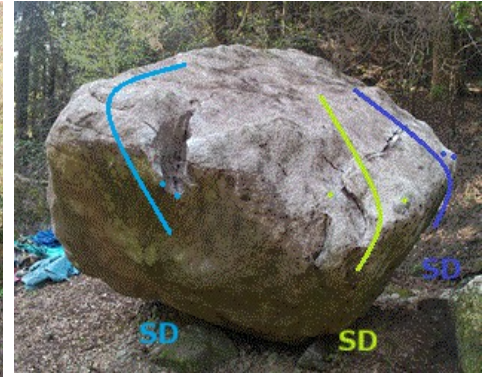
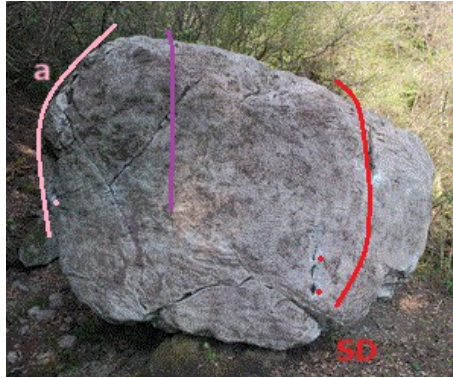
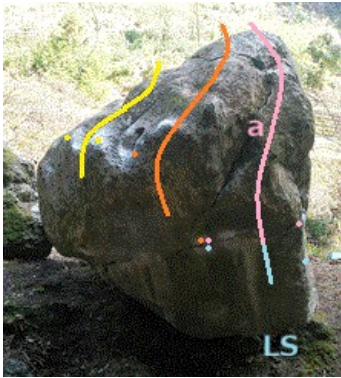
青ラインはハング奥の斜めのクラックのホールドからスタートし、最後は前傾カンテをパワフルに越える。緑ラインは古畑氏の課題(課題名:一馬当先)でさらに奥のアンダーからスタートしカンテ左のホールドをリップまで使わない。

白ラインは古畑氏の課題(課題名:岩千里之馬)はハング最下部のコルネ付近を使っの SD スタートで右上する。下記動画参照。

<https://www.youtube.com/watch?v=60d1zH2Q2Dg>

黄色ラインは左手はクラックにジャミング、右手はハングの末端でスタートしカッチリかかるフレークを取る。右上のガバを取る時に肩の故障で引き付けが厳しくクラックにフットジャムした。狭いのでトライ時に左の壁に触れてしまうのは仕方がない。

●N岩 (トポ上左:石灰岩の岩山側 上中央:下流側 上右:上流側 トポ下:チャートの岩)



M岩の少し下流にある丸っこい石灰岩のボルダーとすぐ下流側のチャートの岩。最初、ブッシュに覆われていたため林道からは見えなかったが、苔とブッシュを払ったら見えるようになった。その後、夏季に山側の灌木が伐採され、岩の上まで倒された木が被さっており、再トライのため取り除くのに苦労した。

石灰岩の岩は、ざらざらの鑊のような岩肌で、ガバがあり易しそうに見えるが、良いフットホールドが無く意外に登り難い。

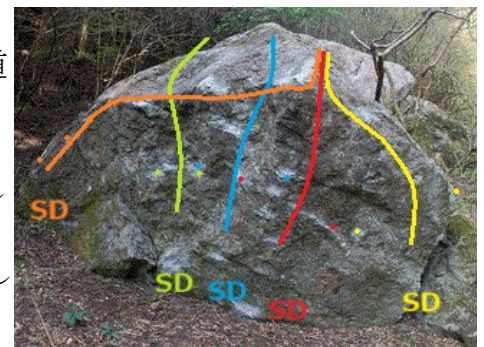
赤ラインは、両手LBで引き付け上のガバにデッドする。

ピンクラインは、右手はカンテのかかりの良いガバ。右手カンテのスローパーからのスタート課題(水色ライン)は古畑隆明氏により登られた。

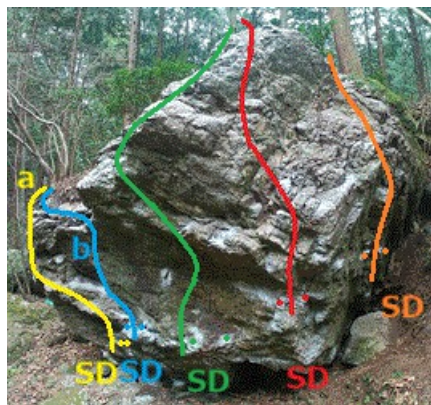
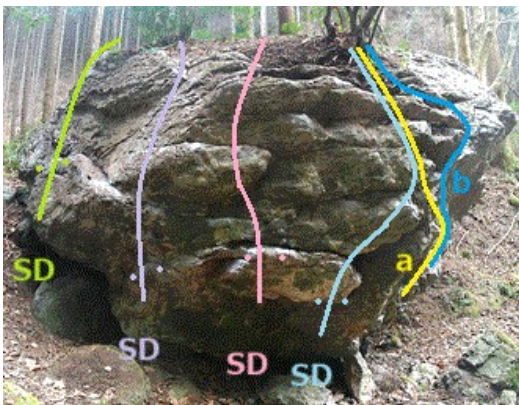
山側の黄色ラインとオレンジラインの下部ハング内にあるアンダーからのスタートは未解決。

上流側の青ラインは上がパーミングホールドで良い足がなく登り難い。

チャートの岩は、フィンガーホールドが多く、引き付けてリップにデッドする課題やリップトラヴァースなどいろいろと楽しめる。左手前の岩は使用しない。



●O岩 (トポ左:上流側の岩下流面 中央:川面&上流面 右:下流にある岩)



廃屋と林道を挟んで下の川右岸に見える岩。直ぐ下流にもハングした小さな岩がある。川の降り口のスペースはゴミが散乱したりして私有地の可能性があるので、地権者から指摘があったら駐車はM岩のところに停めると良い。下地はあまり良いとは言えず、増水すると水没の可能性あり、川側は渇水期のみトライ可能と思われる。

下流側はガバが多く易しいが、ある方から水色ラインをトライした際、スタートホールドが大きく欠け落ちたとの連絡があった。浮石が多く、トライ前に思い切って落としたが、まだ不安定なホールドがあるので注意を要する。

川側のハング中央の緑ラインはハング内の浮石を取ったら易くなってしまった。上流側の赤ラインはカンテ下から入り中間部のがっしりしたガバをとる。上部は易しい。

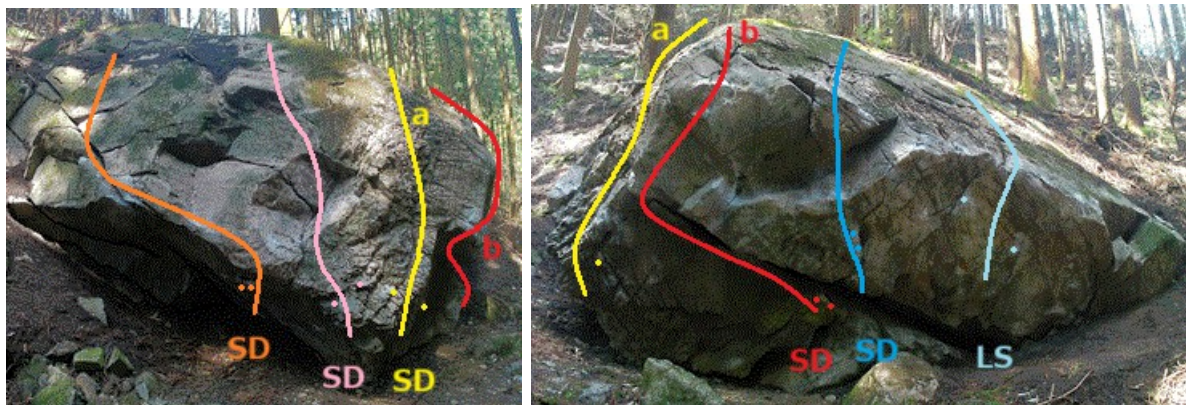
下流にある岩の赤ラインは、カンテを右上するちょっとパワフルな課題。

●P 岩 (トボ左:上流側 右:沢側面)

M 岩から裏の枝沢を入って行くと、下がハングし上はスラブの独特な形状の石灰岩のボルダーがある。設定課題は概ね易しいが、各課題はそれぞれ個性的で面白い。

赤ラインは、ハング下の穴からスタートし、左上してハングのトップをデッドで越えるが少し遠い。

青ラインは、顕著な穴からスタート。ハングより下は手足とも使わないが、使うと易くなりすぎて面白みがない。



●Q 岩

パーキング下エリア少し下流の対岸(右岸)にちょっと見えるチャートの岩。被りはなく易しい。

特にお勧めのラインはないが、強いて言えばリップを使わず壁の中間をトラヴァースし赤ラインに合流する青ラインが面白い。

